

# むそうようちえん通信 第1号

2026年 4月 4日

おかげさまで 今年も 美しい桜の花に包まれて、新しい春を迎え、73回目の「夢窓幼稚園」の一年の営みを みなさまと 始められます。

どんなドラマが つむがれるのか・・・私たち自身でシナリオを書き進めながら 行きつ戻りつ、どんな風に展開するのか・・・わくわくです。

新しい靴を履くと、子どもの頃「いつもより速く走れそうに思いました。新しいノートを買ってもらうと書(描)いていく世界を夢見て心踊ります。勉強はちょっと苦手でも、新しい教科書を買ってもらう時はうれしかったです。

夢窓幼稚園の新しい一日の生活は、『おはようブック』にハンコを押すことから始まります。

カあまって 沢山押してしまう子もいますが、毎朝ひとつ押すことになっています。新しい「今日のおひさま」を迎えるみためのハンコ押しです。

ハンコの数が 増える毎に、庭の木々の葉っぱの緑の様子が変わり、花が咲き、また枯れ、ダンゴムシの生活ぶりも変わっていきます。今日ならではの風の中で 子どもたちは庭に群れあそび、土のしめり気を感じては、さらこを作りやダンゴづくりに夢中になります...! たくさんの賜りものに囲まれ、祝福の中で生かされている今日の証としてのハンコでもあるのかもしれない。ハンコがいっぱいになると、次の月がやってきて新しい月のカードが加えられます。

さて、もうひとつの記録であった、週のカードを貼りお家の方に自由に写真やひとことを加えていただいた『カード帳』が、今年度よりなくなります。

その代わりに『おはようブック』と同じ大きさのカードを、よろこびの節目のときに担任が作りお届けすることになりました。

年度末に、子どもたちがハンコを押して3月分まで収められた『おはようブック』と それらのカードをいっしょに綴っていただく……と、シンフォニーのように 子どもたちのひとつひとつの月、それぞれの季節が響き合う、今年の小さなお話の一冊です！ お家の方が 同じ大きさの用紙で ご自由に ページを加えて いただけます。

そして例えば3年間(黄・青バッチさんは以前のものも)綴っていくと、結果として自然に その子その子のかけがえのない幼な子の時期の“あしあとの記録”の物語の出来上がりです！

ある詩人は、「自分の時間は、共に過ごした誰かの時間」でもあると表現していたのを思い出しました。

さらに言うなら、ひとつひとつの時は、その時に様々なものを与えてくれた自然の存在たちや働きなども含めて、私たちを生かし支えてくれているものたちと共につむいでいる「物語」なのでしょう。

大人である私たちにとって、心配や不安もたくさんある世の中ですが、おかげさまで今日を生かされ、子どもたちが未来に向かっていくこの場を与えられていることを、あらためて感謝し今年度を始めたいと思います。

園長 升光 泰雄

